

保護者用

防災マニュアル

府中市立南町小学校

平成30年4月

1. 保護者の方に知っていただきたいこと

- ① このマニュアルは、災害時または災害が予想される場合に適用されます。しかし、場合によっては学校の対応がマニュアル通りに行われない場合も想定されます。本マニュアルは、基本的な対応であるということをご理解いただき、保護者の皆様の普段からの災害への備え、また災害における自主的な判断をお願いいたします。
- ② 「防災マニュアル」の中で一番重要なことは【連絡】です。しかしながら、緊急時において、配信されます「一斉メール」や「学校ホームページ」の配信不能、電話回線の不通、気象状況の急変などの事態も予測されます。ご家庭でも災害状況から判断される適切な対処を親子で話し合ってください。最も大切な「子どもの命を守る」ということを考えての対応をお願いします。緊急時の本マニュアルが有効に運用されるためには、全保護者の皆様の協力が不可欠です。
- ③ 住居形態によって、下校後の児童の対応が異なります。一戸建ての住宅の場合は、近隣の住民との連携、集合住宅の場合、オートロック式の入り口の問題等も含め、保護者不在の家庭の児童の安全をどのように図っていくか、校外委員会等で、地区・ブロック単位で防災対策について話し合い、決定事項に関しては周知徹底をよろしくお願いいたします。
- ④ 災害はいつ起きてもおかしくありません。
《お子様が登下校中の場合》
ア、建物、電柱、塀などから速やかに離れて、落下物や倒壊物がない場所に避難するように、日頃から注意を促しておきましょう。
イ、登校中、下校中は児童自らの判断が必要となります。
 - 安全に気をつけて、登下校する。
 - 災害が起きた時、安全な場所（公園、集会場等）に一時避難し、近隣の大人の指示を求める。《お子様が家庭にいる場合》
ア、自宅待機等の場合には、外出をしない、火を使わない等の安全対策ルールを守らせてください。
- ⑤ 家庭内で防災に関する話し合いをしましょう。
ア、仕事を常勤されている保護者の場合、低学年（1年～3年）は学童保育及び放課後子ども教室との連携を密にしてください。学童保育と小学校は管轄が違いますので、学校に学童保育の対応を問い合わせてもわかりません。学童保育の方へ連絡、確認をお願いします。
イ、学童に通っていない児童、高学年の児童の保護者が災害時不在の場合、地域内、保護者間で児童の安全を確保できるように普段から話し合っておいてください。

ウ、家庭内で、家具の転倒防止、家の中に安全スペース（落下物や倒壊物がない場所）をつくるなどして防災対策を徹底してください。

エ、児童が下校した時に保護者が不在の場合、不安になってしまいます。普段から行き先を書いたメモを残すなど、不在の場合の家庭内での対応策を話し合ってください。保護者の居場所は常にお子様に伝えておいてください。

⑥ 一斉メールに登録をお願いします。

お子様の安全に関わることで、速やかに保護者に連絡の必要がある内容や学校行事に関する事柄について、保護者へのお迎えのお願いや学校の体制などを「南町小一斉メール」を配信し、お知らせすることになります。27年度より地区班緊急連絡網と学級連絡網を廃止いたしました。必ず、「一斉メール」への登録をいただきますようお願いいたします。メール配信システムについての詳細や登録の手順につきましては、4月保護者会に配布される印刷物をお読みください。

他にも家庭の中でできる防災活動はいろいろあります。

地域の防災訓練に親子で参加するなど、家庭内で防災意識を高めてください。

災害によっては学校が安全地域でない事態もあります。

学校の判断・決定をご理解いただいた上で、家庭・地域で話し合いをしてください。

学校と協力し合い、児童全員の安全を守っていきましょう。

2. 災害時の学校側の対応

(1) 台風接近等の対応について

① 登校時に関わること・・・**下記の事項を確認して、対応をお願いします。**

◎ 午前7時現在で、「多摩北部」地域に暴風警報が発令されている場合は、**休校**となります。

② 下校時に関わること・・・**随時、一斉メール、ホームページ、で連絡します。**

ア、下校時に暴風警報が発令されている場合には、児童を学校に待機させます。
暴風警報がいつまでも解除されない場合の対応（保護者の引き取り等）につきましても、随時、発信します。

イ、下校時に暴風警報が解除されている場合でも、台風の予想進路や速度などの状況が急変し、児童の帰宅が危険と判断した場合、また大雨等の影響による道路の冠水により、車道・側断溝との区別がつきにくいなど、安全に歩けない状況にある時には、学校待機となります。その場合には、引き取りをお願いすることもあります。また、安全に歩いて帰ることができるかと判断した場合には、一斉集団下校を実施します。その場合も連絡します。

ウ、状況によっては、下校時刻を早めたり遅らせたりすることもあります。その場合にも、随時連絡をします。

③翌日に関わること・・・学校より通知にて、翌日の対応について連絡します。

※テレビ・ラジオ、「気象庁」のホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
で「多摩北部」の警報・注意報の発令を確認してください。

(2) 警戒宣言が発令された場合

国で定められた大規模地震対策措置法の判定会議後、東京地方も準警戒地区に指定されます。本校におきましても、警戒宣言が発令された場合には、確実に児童を保護者に引き渡すことができるように、以下の対応についてご理解とご協力をお願いいたします。

①警戒宣言は、市役所からのサイレン（3回連呼）や消防車、パトカーのサイレンなどで伝えられるほか、テレビ・ラジオ等でも放送されますので、日頃から注意してください。なお、学校からは、警戒宣言の発令に関する連絡は行いません。

②登校前に発令された場合には、そのまま自宅待機になります。

③児童が在校中に警戒宣言が発令された場合には、原則として授業を打ち切り、警戒宣言が解除されるまで臨時休業になります。発令直後に保護者への引き渡しを行いますので、お子様を引き取りにご来校ください。

④児童を引き渡す際には、学校に保管している「災害発生時における引き渡しカード」をもとに、保護者またはカードに記入されている代理人の方に、帰宅先を確認してから、児童を引き渡します。

※引き取りのない児童については、引き取りの方が来られるまで、学校で保護します。

⑤警戒宣言解除につきましても、テレビ・ラジオ、市の広報等によって情報を得るようになしてください。解除後の授業再開の時期については、下記の通りです。

○午前6時現在で解除されている場合・・・・・・・・・・・・・平常通りの授業

○午前6時以降に解除された場合・・・・・・・・・・・・・当日休校とする。

(3) 特別警報が発令された場合

気象庁ではこのほど、警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けることになりました。このことを受け本校では以下のような対応をします。

①登校前に発令された場合 →解除まで自宅待機

②在校中に発令された場合 →解除まで学校待機

(4) 府中市で大規模の地震（震度5弱以上）が発生した場合

1. 児童が在校していた場合

- ① 原則として保護者への引き渡しを実施します。南町小ホームページの「緊急連絡」や一斉メール、回線可能な場合には、「災害ダイヤル171」等により連絡します。
- ② 定められた引き取り人の方が来るまで、学校で責任をもってお子様を保護いたします。

2. 児童が校外（遠足、社会科見学等）にいた場合（基本的に1と同じです）

- ① 児童の安否を確認後、学校からホームページや一斉メール、回線可能な場合には、災害ダイヤル171等の連絡により、児童の状況と対応方法等についてお知らせいたします。
- ② 帰校が可能な状況であれば、帰校し、保護者への引き渡しを実施します。帰校できない状況（交通網遮断等々）の場合には、現地の災害対策本部等の指示を受け、その時点での適正な対応を考え、実施します。（ホームページや一斉メール、回線可能な場合には、災害ダイヤル171等でお知らせします。帰校が困難な場合には、現地まで迎えにきていただくことも考えられます。）

※ 児童が登下校中の場合

日頃より、登下校中に大地震が発生した場合のお子様の対応について、ご家庭で話し合い、徹底しておいてください。

（例）各家庭の地理的条件や交通状況等を勘案して、地震発生状況に応じて判断できるようにしておく。

- ・学校に行く
- ・家庭に帰る
- ・近隣の〇〇への避難
- ・その他

◎以上のお示ししました対応につきましては、現在考えられる基本的な対応です。

緊急突発的な災害等が生じた場合には、より適正な方法を考え実施いたします。

3. 保護者の方々へのお願い

(1) 引き渡しカードについて

本校では、大規模地震が発生した時、警戒宣言が発令された時、または大きな事故や事件が生じた時等は、原則として保護者への引き渡しを行います。引き渡しの際には、学校ホームページ、一斉メール配信にて連絡します。

引き渡しの際には、「災害発生時における引き渡しカード」をもとに、児童を引き渡します。

そのため、毎年4月に「災害発生時における引き渡しカード」を提出していただきます。

保護者以外の方が引き取る場合、誘拐防止等のため、カードに記入されていない方へは引き渡しをしませんので、確実に記入ください。

(2) 連絡方法について

緊急時における学校からの連絡は「一斉メール」と「学校ホームページ」の2つの方法となります。

「一斉メール」の登録につきましては、次の点についてのご理解とご協力をお願いいたします。

- ◆兄弟姉妹が在籍する学年全てに登録してください。
- ◆携帯電話の機種変更をされた時は必ず確認してください。再登録が必要な場合があります。
- ◆念のためご家族複数の方の登録をお願いします。

全てのご家庭が必ず「一斉メール」へ登録されますようお願い致します。

普段の地区班登校を円滑に進めるため、校外委員等が、十分な管理のもと電話番号を承知していることをご了解ください。また、諸々の場合において個人情報が必要な際は、学校（生活指導主任）が一括して窓口になり対応してまいります。

ご理解、ご承知おきください。

1. 台風等が接近した場合における対応

①登校時に関わること・・・連絡なし

◎ 午前7時現在で、「多摩北部」地域に暴風警報が発令されている場合は、休校となります。

②下校時に関わること・・・随時連絡発信（下校が早まる場合等）

ア、下校時に暴風警報発令の場合 →学校待機

イ、下校時に暴風警報解除の場合でも帰宅が危険の場合 →学校待機

③翌日に関わること・・・（必要があれば） →学校より連絡

※テレビ・ラジオ、「気象庁」のホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

で「多摩北部」の警報・注意報の発令を確認してください。

2. 府中市で「特別警報」が発令された時の対応

①登校前に発令された場合 →解除まで自宅待機

②在校中に発令された場合 →解除まで学校待機

3. 警戒宣言が発令された場合における対応

①登校前に発令された場合 →解除まで自宅待機

②在校中に発令された場合 →引き渡し
発令解除まで自宅待機

4. 府中市で大規模地震（震度5弱以上）発生の場合における対応

①在校中の場合 →引き渡し（学校より連絡）

②校外（遠足等）にいた場合

ア帰校可能な場合 →帰校後、引き渡し(学校より連絡)

イ帰校困難な場合 →現地まで迎えにきてもらう場合も(学校より連絡)

5. 保護者への連絡方法

※学校ホームページ・斉メール配信・災害ダイヤル171等

※災害における最終的な判断は、あくまでも保護者です。